

『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催しました。

10月1日（土）、資料館2階交流学習ルームにおいて『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催し、県内外から約60名の方々に参加いただきました。

前半の語り部講話では、水俣市立水俣病資料館の前田恵美子さん、新潟県立環境と人間のふれあい館の稲垣シズエさん、四日市公害と環境未来館の伊藤三男さん、そしてイタイイタイ病資料館の大上久彦さんにご自身の貴重な体験について語っていただきました。実体験を踏まえながら被害の歴史や克服までの過程を踏まえつつ、公害病の恐ろしさや悲惨さ、そして当時の生活の様子などを詳細に語る4人の語り部の話に、参加者は真剣な表情で耳を傾けておりました。

後半の意見交換会では、講話いただいた4人の語り部とイタイイタイ病対策協議会の高木勲寛会長、当資料館の鏡森館長が「公害の教訓継承に向けて」と題して意見交換を行いました。他の資料館の語り部講話を聴かれた感想や、公害を後世にしっかりと語り継いでいくための方策などについて話し合われました。

意見交換会の最後には、イタイイタイ病対策協議会の高木勲寛会長より今後の語り部に期待することについてご意見を賜りました。

このように、発生した地域や病状、原因物質等、公害の内容は違いますが、四大公害病が引き起こした悲惨な現実や教訓を後世に語り継いでいくため、各資料館が今後も連携していくことを確認するとともに、悲惨な公害を二度と引き起こしてはならないという思いを集いの参加者全員で共有する機会となりました。



機関誌『資料館だより 2016年 秋号』を発行しました。

このたび、資料館での出来事や活動状況、各種のお知らせ情報をお伝えする『資料館だより 2016年 秋号』を発行しました。

秋号では、主な内容として、春の特別企画展『イタイイタイ病弁護団の軌跡』の様子や、子ども向け夏休み企画として開催した『自由研究講座』や『イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』の様子について、参加者の感想などを交えて紹介しています。

このほかにも、イタイイタイ病の教訓継承に向けて資料館が進めている取り組みなど盛りだくさんの内容となっております。

この「資料館だより」は、年2回（春・秋）発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館ホームページからも閲覧できます。

「資料館ホームページ」(URL: <http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>)



(表面)

(裏面)

